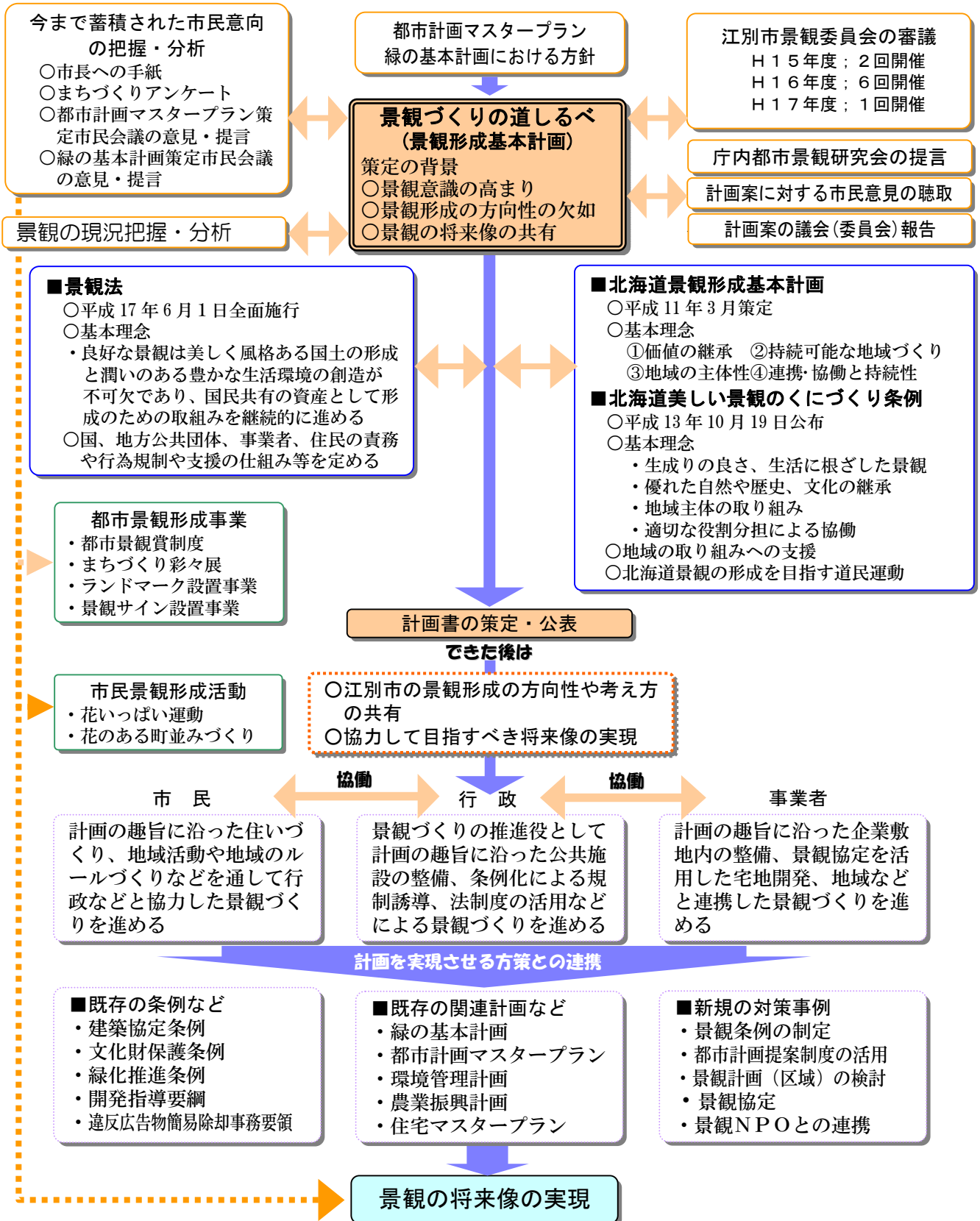


6 参 考

1. この計画書ができるまでとその後の景観づくり



2. 景観に関連する主な法令など

➤ 法律・条例等

景観法	～ 良好な景観形成に関する総合的な法律
屋外広告物法	～ 広告物等の除却や違反措置の強化などによる景観に関する規制誘導
都市計画法	～ 景観地区、緑地保全地域、緑化地域、地区計画による景観に関する規制誘導
建築基準法	～ 景観重要建築物等に対する規制緩和による景観に関する規制誘導
都市緑地法	～ 緑地の保全や緑化の推進、緑化率規制による景観に関する規制誘導
都市公園法	～ 立体公園や借地公園による都市公園整備の促進による都市環境の向上
北海道美しい景観のくにづくり条例	
北海道屋外広告物条例	

➤ 計画・指針等

国土交通省	景観法運用指針、美しい国づくり政策大綱
北海道	北海道美しい景観のくにづくり基本計画、北海道公共事業景観づくり指針 北海道屋外広告物管理指針

3. 都市計画マスタープラン策定市民会議からのご意見・ご提言

- 「都市計画マスタープラン」を策定するために平成12～13年に市民会議を開催し、「地域の良いところ・改善したいところ」の検証や「まちづくりのアイデア出し」などを行った際に出された、景観に関連する参加者の皆様のご意見やご提言を紹介します。これらは、今後の景観づくりの参考にしていくことになります。

1)改善したい景観

① 江別地区

- ゴミなどで汚いバス停留所
- 植栽などが配慮されていない工場
- 景観的に好ましくないアパート
- うっそうとした3番通の街路樹
- 国道12号3丁目交差点周辺の景観

② 野幌地区

- 歩道の雑草や立枯れた街路樹
- 駅前の雑然とした駐輪場
- 放置された無人のアパート
- 分かりやすい案内や標識がない
- 剪定しすぎた国道12号の街路樹
- インター線周辺の廃材、廃車置場
- 歩道を覆う2番通の民地の樹木
- 安全や景観に配慮した公園樹木剪定
- 人工的すぎる公園
- 公園トイレの悪臭
- 周囲と調和しない住宅の色使い
- 商業地での目立つ色使い

③ 大麻地区

- 景観上好ましくない公園の緑地
- 市有の鉄道林の保全
- 花植えされていない15丁目通の植樹帯

- 大麻駅から市民文化ホールへ抜ける殺風景な通路
- 緑道が歩道でネットされていない
- 道々東雁来江別線の札幌から大麻への入口が殺風景

④ 豊幌地区

- 豊幌川の環境美化
- 殺風景な豊幌駅前
- 景観を阻害する高圧線鉄塔の活用
- 電線類の地中化

2)守りたい良い景観

① 江別地区

- あけぼの町の3本のポプラ
- 水道庁舎と駅前公園の噴水
- れんがを使ったバス待合所
- いずみ野団地の江別らしい街並み
- 学園通りの四季折々の街路樹
- 電線のないコミセン前シンボルロード
- 自然散歩ができる四季のみち夏のゾーン
- 江別らしい歴史的建造物の旧倉庫群
- 市民が取り組んでいるきれいな花壇

② 野幌地区

- 野幌駅から高砂駅間の鉄道林を散歩できるように活用しては
- 段丘状に連なるきれいな杜の台の防風林
- 身近な自然環境として4番通から望む森林
- 美原大橋を望む美しい景観
- 元野幌の8丁目通付近の気持ちのいい丘陵地
- 市民体育館横の身近な並木
- 家から見える鉄道林の景色
- 1号線の桜並木
- 新栄台からの美しい夕日
- 紅葉した鉄西線イチョウ並木
- 美しい花壇のあるきれいな家並み
- 2番通の緑のトンネル
- 中央町の緑豊かな3番通の街路樹
- 4番通から見えるきれいな山並み
- れんがを敷いた江別らしい8丁目通の歩道
- きらら街道ののどかな風景
- 2番通の美しい植樹帯の花壇
- 錦町公園のきれいな花壇
- 街なかにある旭公園の緑
- 錦山天満宮周辺の景観
- れんがが建造物を生かした店（あまりや）
- れんがを使ったバス待合所

③ 大麻地区

- 夕日と山並みが一望できる景色
- 大麻中央公園のほっとする水辺と樹林
- 道立図書館のポプラ
- 大麻元町から見る美しい札幌の夜景
- 大麻4番通付近ののびやかな斜面
- 大麻駅前の花いっぱい花壇
- 鉄道林のある風景
- 酪農学園大学の白樺並木
- 吉井の沢の手付かずの自然
- 大麻第2緑地の花いっぱい花壇
- はるみ公園のほっとする並木道
- 酪農学園大学の牧歌的な景観
- 公園や自然の多い大麻地区の景観
- れんがを使ったバス待合所
- れんがを使った交番
- 大麻地区の緑量のある街路樹
- 14丁目通の広い歩道と並木
- 清潔で美しい13丁目通
- 文教通のプラタナス並木
- はるみ公園の遊具のある風景
- 3番通10丁目付近の樹林の保全

- 道立図書館の芝生と木々
- 市民文化ホールの建物と前庭

④ 豊幌地区

- 石狩川河川敷の景観
- 水田や小麦畑ののどかな田園風景
- 豊幌駅前のれんがのある景観

3) 景観に関するご意見 

① れんがの活用

- やきものやれんがをテーマにした個性あるまちづくりを行う
- 古くなっても、いい雰囲気がでるれんがの色を活用する
- れんが舗道を整備し、れんがのまちを演出する
- 自然素材のれんがの活用により、やすらぎの景観を演出する
- れんがにこだわったまちづくりを進める

② 4つの個性ある地域づくり

- 花や木を生かした景観づくりを行う
- 街灯の色やデザインの統一など、街並みの調和を図る
- 公共施設の色を統一し、分かりやすく個性的な街並みをつくる
- 夕日の見える景観を大切にしまちづくりを行う
- 歴史やロマンを感じるまちづくりを行う
- 空地の管理や廃屋に対する指導などの景観改善を行う
- 市内を一望できる展望台をつくる
- 開発する時は江別らしい景観を守る
- 統一感のあるまち並みをつくるためにまち並み条例をつくる
- 静かにゆったりと暮らせる江別らしい住宅地をつくる
- 市民のアイデアを取入れた景観づくりを行う
- 住民ルールをつくり、きれいな住宅地をつくる

③ ユニバーサルデザインの採用

- 車、歩行者、自転車のための分かりやすい誘導サインを工夫する
- 安全で快適な道路環境を整備する

④ 身近な商店街の再生

- サインや看板をデザイン化し統一して、利用しやすい商店街をつくる

4. 緑の基本計画策定市民会議からのご意見・ご提言

- 「緑の基本計画」を策定するために平成12～13年に市民会議を開催し、江別の緑の将来像や緑の保全・創出・活用についてどうあるべきかを検討しました。その際に出された、景観に関連する参加者の皆様のご意見やご提言を紹介します。
- これらは、今後の景観づくりの参考にしていくことになります。

1) 景観に関するご意見

① 野幌原始林をまもる

- 原始林周辺の開発を規制する
- 原始林には手を加えない

② まちを取り巻く緑をまもる

- 斜面緑地を守る
- 農村景観を今のまま守る

③ 水辺をまもる

- 篠津川や越後沼、世田豊平川などの自然豊かな水辺を守る

④ 身近な緑をまもる

- 鉄道林は江別のシンボルとして守る
- 原始林や雑木林を守る
- 開発は樹林地を残すよう義務づける

⑤ 緑のボリュームアップ

- 街路樹は成長を考慮して植える
- 市民1人当たりの街路樹本数の目標を定める
- 日常的に目にする緑（緑視率）の充実を図る
- 中心市街地や住宅地の緑化を図る

⑥ 拠点・施設の整備

- 桜や紅葉がきれいな並木をつくる

⑦ 空間の特性に応じた緑化推進

- 商店街に街路樹やポケットパークをつくる

- 工業地は熱排出量に見合った緑化を行う
- 商業地の緑被率は残地の30%以上をめざす

⑧ 緑のイメージアップ

- 歴史性のあるれんがを活用する
- 産業廃棄物処理場の周辺は緑化する
- 「江別らしさ」と「北海道らしさ」を大切に

⑨ 関心を深める機会づくり

- 自治会や学校などの緑の景観コンテストで機運を高める

⑩ 参加の機会づくり

- ガーデニングのイベントをホームセンターなどの民間と連携して行う

⑪ 身近な緑の管理

- 良好な民間緑地の維持管理のために支援する
- 公共施設の樹木は適正な管理を行う

⑫ 緑づくりを支援する

- ガーデニングや地域の花づくり、工業団地の緑化などに助成する
- 庭に植える木の本数を決めて、苗木を提供する

5. 都市景観研究会からの提言

- 都市景観研究会は、平成 10 年度に市役所内の若手職員を中心とし、「ふるさと江別」の景観づくりについて調査研究するためにつくられたものです。
- 平成 11 年度には、江別市の景観について、特に公共空間の整備にあたっての基本的な方向性などの提言がなされ、その一部は実際に具体化したものもあり、これからも景観づくりの参考にしていけることとなります。

提言の主な内容

1. れんがを使った道路づくり

- 楽しみながら散歩できるれんが歩道とネットワークづくり
- 野幌グリーンモールと四季のみちを結ぶ学園通へのれんがの活用
- 公共れんが建造物を結ぶ歩道へのれんがの活用と休憩所の整備
- 江別の顔である JR 駅周辺や国道 1 2 号へのれんがの活用と緑化
- 通勤通学路や自転車道、街角れんがゾーンとして交差点歩道巻込み部へのれんがの活用
- 歩道幅 3.5 m 以上を基本とした連続するれんが歩道の整備

2. れんがを使った公共建築物づくり

- 必ず一部にれんがなどをイメージする素材の使用
- 周辺施設とモニュメントなどの造形物との調和
- 敷地面積と建物のバランス、建物と植栽スペースの割合への配慮
- れんがとその他の素材それぞれを生かした使用方法への配慮
- デザインは複数案を基に決定のための会議などで決定
- 公共建築物景観形成指針の作成と運用
 - a. 地域と調和した公共建築物
 - ・ 地域の生活環境との調和と風土に根ざした景観づくり
 - ・ れんがの活用と地域の自然環境の保全、育成
 - ・ 大きさ、形態、素材、色彩などの調和
 - b. 個性ある公共建築物
 - ・ れんが、野幌原始林、石狩川をヒントに形態、素材、色彩などで江別らしさの演出
 - ・ ランドマークとしての象徴性の演出
 - ・ れんが、水、緑、光による演出
 - c. 人にやさしい公共建築物
 - ・ 建物の用途と順路を分かりやすく導く
 - ・ 高齢者や障がい者など、だれもが使いやすい施設づくり
 - ・ 緑豊かな植栽や草花で潤いの演出
 - ・ 開放感のある交流の場としての演出

3. 江別らしい街路樹の検討

- 都心地区の幹線道路は、樹高や葉張りある高木による風格ある道路の演出
- 商店街などは、葉張りや葉形の小さいものや花や樹枝が美しく明るいイメージの樹種による華やぎのある空間の演出
- 江別・豊幌、野幌、大麻・文京台の 3 地区の特性に応じた緑化
- 街路樹の緑量の向上に配慮した維持管理の検討
- 2 番通、3 番通、4 番通の街路樹の樹種統一と計画立案
- 一年草や宿根草などによる花のネットワークづくり

4. 江別らしい照明灯の検討

- 緑・川・れんがを意識したシンプルなデザイン照明の設置
- 自然および歴史性を意識し、緑系とれんが色系を基調色とする

6. 江別市景観委員会の審議

1. 審議経過

平成 15 年度第 1 回	:平成 15 年 5 月 26 日開催
平成 15 年度第 2 回	:平成 15 年 8 月 22 日開催
平成 16 年度第 1 回	:平成 16 年 4 月 23 日開催
平成 16 年度第 2 回	:平成 16 年 5 月 24 日開催
平成 16 年度第 4 回	:平成 16 年 10 月 26 日開催
平成 16 年度第 5 回	:平成 16 年 12 月 1 日開催
平成 16 年度第 6 回	:平成 17 年 1 月 21 日開催
平成 16 年度第 7 回	:平成 17 年 3 月 25 日開催
平成 17 年度第 1 回	:平成 17 年 9 月 30 日開催

2. 江別市景観委員会委員

委員長 井 端 明 男	建築分野
表 幸 子	景観づくり実践
加賀屋 誠 一	学識経験：都市計画
金 子 正 美	学識経験：環境
喜 田 信 代	学識経験・景観づくり実践
国 松 明日香	学識経験・芸術分野
渋谷 真 澄	デザイン分野
鈴木 典 子	景観づくり実践
波 田 道 則	学識経験・芸術分野
原 利 文	デザイン分野
ヒルガー・コンラード	学識経験：都市文化
船 木 幹 也	建築分野・まちづくり実践
山 崎 孝 一	景観づくり実践
坂 本 与 市 (前職：委員長)	学識経験：自然環境
佐々木 智津子 (前職：委員長)	建築分野
岩 田 恭 子 (前職)	景観づくり実践
岡 山 栄 子 (前職)	芸術分野
古 海 賢 子 (前職)	景観づくり実践
関 秀 志 (前職)	学識経験：歴史
手 島 圭三郎 (前職)	芸術分野

【敬称略】

7. この計画書のあらまし

景観づくりのテーマ

人と自然が織りなす江別らしい景観を子供たちへ

景観の将来像

暮らしてほっとする景観のあるまち

まちを形
づくる要素

- | | |
|---------------|-------------------------|
| ・住宅街 | 「暮らし続けたい」と感じる景観 |
| ・人が集まる場所 | 「にぎわい」と「魅力」のある景観 |
| ・工場などが集まる場所 | 「地域や自然と調和」した景観 |
| ・公共施設 | 「江別らしさ・シンボル性・親しみ感」のある景観 |
| ・農業地域や自然のある場所 | 「原風景」のある景観 |



実現に向けた考え方と取り組み

景観をまもる

- ・身近に自然や緑のある景観の保全
- ・地域の記憶となる原風景の保全
- ・歴史を感じる貴重な景観の保全

景観をつくる

- ・地域の特色にふさわしい景観づくり
- ・将来的につながる優れた景観づくり
- ・れんがのまちを意識した景観づくり

景観をみちびく

- ・市民が主役となる身近な景観づくりの推進
- ・景観づくりをしやすい環境の形成
- ・改善が必要な景観を適切にみちびく

住宅街

- ・景観を壊す行為をしない
- ・身近な自然景観をまもる
- ・れんがのある住宅街づくり
- ・緑豊かな住宅街づくり
- ・開放感や生活感が感じられる住宅街づくり
- ・個性のある住宅街づくり
- ・れんが普及のための環境づくり
- ・地域住民の景観づくりへの支援
- ・身近な景観づくりの促進

人が集まる場所

- ・商店街や駅前の景観をまもる
- ・地区の特性に応じた景観づくり
- ・れんがとやきもののある拠点づくり
- ・緑豊かな拠点づくり
- ・商店街の景観づくりへの支援

工場等が集まる場所

- ・地区内と周辺の自然景観をまもる
- ・企業敷地内の環境をまもる
- ・地区内の緑化をすすめる
- ・企業などの景観づくりへの支援

公共施設

- ・公共施設を美しく保つ
- ・江別らしい景観をつくる
- ・美しい道路の景観をつくる
- ・地域のシンボルとなる景観づくり
- ・自然を生かした河川景観づくり
- ・施設整備や管理の仕組みづくり

農業地域

- ・農村の原景観をまもる
- ・地元による景観づくりの促進
- ・地元の景観づくりへの支援

自然のある場所

- ・野幌原始林や河川や湖沼などの自然をまもる
- ・民間の良好な樹林地をまもる
- ・残された樹林地を充実する
- ・良好な自然景観にするための支援

歴史的・文化的なもののある場所

- ・歴史的建造物などをまもる
- ・歴史的景観を生かした拠点づくり
- ・将来に向けた歴史的・文化的景観づくり
- ・民間活力への支援

良い景観

- ・美しい景観をまもる
- ・鉄道林をまもる
- ・表彰制度などによる誘導

改善が必要な景観

- ・路上施設の改善
- ・込み合った電線類の改善
- ・廃車や廃材置場などの改善
- ・放置自転車の改善
- ・景観阻害要素改善の調査研究

素材・季節・色彩・音などを生かした景観

- ・星空のある景観をまもる
- ・地場産レンガの活用
- ・樹木や花の活用
- ・季節感を演出した景観づくり
- ・色彩に配慮した景観づくり
- ・音を活用した心地よい景観づくり
- ・夜を楽しむ景観づくり
- ・まちの色の提案のための調査研究
- ・景観づくりのための指針づくり

つくろう！ふるさと江別の絵になる風景

景観形成基本計画



平成 18 年（2006 年）3 月発行

－ 編集・発行 －

江別市 企画政策部 都市計画課

TEL. 011-381-1038

E-mail. tosikei@city.ebetsu.lg.jp